

事業計画（変更事業計画、実績）書

（分娩施設名： _____）

1 分娩費用

一般的な分娩費用 (分娩費用の内訳の合計と一致すること)	
標準入院日数	

(分娩費用の内訳)

分娩（管 理・介助） 料	入院費用	胎盤 処理料	処置料・注 射料・検査 料	産科医療 補償制度 の掛け金	その他	分娩費用 合計

(注) 1 初産妊婦が、平日の昼間に正常分娩した場合、一般的に入院から退院までの分娩費用として徴収する金額を記入するものとし、妊産婦が任意で選択できるサービスに係る費用については含めないこと。

2 欄に記入しきれない場合には、費用の内訳がかわる資料の添付に代えて差し支えない。

2 分娩件数

当該年度の分娩取扱（見込）件数	件
うち分娩手当等の支給対象となる 分娩件数	件

分娩手当等の支給対象を限定している場合は、以下に支給対象となる分娩について記載してください。

3 分娩手当等の単価及び職種別支給状況

対象職種等	手当の対象となる 分娩件数（職種別） (A)	手当単価 (B)	分娩手当等支給額 (A×B)
計		—	

(注) 1 本補助金の助成対象となるもののみ記載すること（本補助金の対象とならない分娩取扱者以外の医師（麻酔科医など）や、看護師等については記載しないこと。

2 正常分娩と異常分娩で単価が違う場合など、単価が変わる場合は欄を分けること。

事業計画 (変更事業計画、実績) 書

(分娩施設名: ○○産婦人科医院)

1 分娩費用

一般的な分娩費用 (分娩費用の内訳の合計と一致すること)	381,500 円
標準入院日数	5 日

(分娩費用の内訳)

分娩 (管理・介助) 料	入院費用	胎盤処理料	処置料・注射料・検査料	産科医療補償制度の掛け金	その他	分娩費用合計
135,000	100,000	13,000	33,000	30,000	70,500	381,500

(注) 1 初産妊婦が、平日の昼間に正常分娩した場合、一般的に入院から退院までの分娩費用として徴収する金額を記入するものとし、妊産婦が任意で選択できるサービスに係る費用については含めないこと。

2 欄に記入しきれない場合には、費用の内訳がかわる資料の添付に代えて差し支えない。

2 分娩件数

当該年度の分娩取扱 (見込) 件数	600 件
うち分娩手当等の支給対象となる分娩件数	600 件

分娩手当等の支給対象を限定している場合は、以下に支給対象となる分娩にしてください。

過年度の実績や今年
の取扱い件数を参考
に実数に近い数で少
し多めに記入して下
さい。
分娩取扱件数には帝
王切開の件数も含ま
れます。

様式2号の基準額算出に使用します。

分娩手当の支給対象とな
った分娩件数を記入して
ください。

3 分娩手当等の単価及び職種別支給状況

対象職種等	手当の対象となる分娩件数 (職種別) (A)	手当単価 (B)	分娩手当等支給額 (A×B)
医師	100 件	20,000 円	2,000,000 円
助産師	600 件	5,000 円	3,000,000 円
計		—	5,000,000 円

(注) 1 本補助金の助成対象となるもののみ記載すること (本補助金の対象とならない分娩取扱者以外の医師 (麻酔科医など) や、看護師等について記載しないこと。

2 正常分娩と異常分娩で単価が違う場合など、単価が変わる場合は別に分けること。

様式2号の総事業費の「産科医等確保支援事業 (分娩手当等)」欄に転記してください。

様式第3号の2 (用紙 日本産業規格A4縦型)

事業計画 (変更事業計画、実績) 書

(分娩施設名:)

1 帝王切開件数

当該年度の帝王切開実施 (見込) 件数	件
うち帝王切開手当等の支給対象となる帝王切開件数	件

支給対象を限定している場合は、以下に支給対象の条件について記載してください。

[]

2 帝王切開実施体制等

※ 日中と夜間及び予定と緊急といった状況により実施体制等が異なる場合は、該当区分に○印をつけ、個々について記載してください。

【区分: 日中・夜間・予定・緊急・その他 ()】

職種	人数	手当の対象となる帝王切開 (見込) 件数
産科医師	人	
上記9以外の医師 (麻酔科医等)	人	—
助産師	人	—
看護師	人	—
その他職種 ()	人	—
計	人	

【区分: 日中・夜間・予定・緊急・その他 ()】

職種	人数	手当の対象となる帝王切開 (見込) 件数
産科医師	人	
産科医師以外の医師 (麻酔科医等)	人	—
助産師	人	—
看護師	人	—
その他職種 ()	人	—
計	人	

3 帝王切開手当等の単価及び支給状況

区分	帝王切開件数 (A)	配置医師数 (B)	手当単価 (C)	帝王切開手当等支給額 (A×B×C)
計		—	—	

- (注) 1 本補助金の助成対象となるもののみ記載すること。対象とならない産科医師以外の医師 (麻酔科医など) や、助産師等については記載しないこと。
 2 緊急帝王切開又は予定帝王切開、日中又は夜間など、場合によって単価が変わる際は欄を分けること。

様式第3号の2 (用紙 日本産業規格A4縦型)

事業計画 (変更事業計画、実績) 書

1 帝王切開件数

当該年度の帝王切開実施 (見込) 件数	10件
うち帝王切開手当等の支給対象となる帝王切開件数	10件

様式2号の基準額算出に使用します。

昨年度の実績や今年の実績を参考に、実数に近い数で少し多めに記入して下さい

支給対象を限定している場合は、以下に支給対象の条件について記載してください。

[]

2 帝王切開実施体制等

※ 日中と夜間及び予定と緊急といった状況により、区分に○印をつけ、個々について記載してください

実施体制が複数ある場合の例

日中：医師3人
夜間：医師2人

区分に○

【区分：日中・夜間・予定・緊急・その他 ()】

職種	人数	手当の対象となる帝王切開 (見込) 件数
産科医師	3人	7件
上記以外の医師 (麻酔科医等)	○人	—
助産師	○人	—
看護師	○人	—
その他職種 ()	人	—
計	○人	

区分に○

【区分：日中・夜間・予定・緊急・その他 ()】

職種	人数	手当の対象となる帝王切開 (見込) 件数
産科医師	2人	3件
産科医師以外の医師 (麻酔科医等)	○人	—
助産師	○人	—
看護師	○人	—
その他職種 ()	○人	—
計	○人	

3 帝王切開手当等の単価及び支給状況

区分	帝王切開件数 (A)	配置医師数 (B)	手当単価 (C)	帝王切開手当等支給額 (A×B×C)
日中	7件	3人	30,000	630,000
夜間	3件	2人	30,000	180,000
計		—	—	810,000

(注) 1 本補助金の助成対象となるもののみ記載すること。対象とならない産科医師以外の医師 (麻酔科医など) や、助産師等については記載しない

2 緊急帝王切開又は予定帝王切開、日中又は夜間など異なる際は欄を分けること。

様式2号の総事業費の「帝王切開手当加算」欄に転記して下さい

